

令和 4年度 ( 3年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	ゼロカーボンシティ推進
	施策	ごみの減量と再資源化の推進		電話番号	087-839-2393
	基本事業	ごみの発生抑制の推進		事業実施主体	市
	事務事業	レジ袋等削減推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	環境負荷の少ない循環型社会を構築するため、ごみの発生抑制に向けた取組として、事業者、市民団体、市の三者により、レジ袋等の削減に関する協定を締結し、協働してレジ袋の削減を推進する。引き続き、事業者に対し、協定への参加の呼びかけを行い、賛同を得られた事業者と協定を締結する。		
年度の概要	協定事業者と協力し、レジ袋だけでなくマイボトルの推進とプラスチックごみの削減を図るため、啓発キャンペーンを実施する。		
重点取組事業	市長マニフェスト	2-	事務事業の種類

【事業の目的】

対象(何を)	市内のスーパー、ホームセンター等の事業者
意図(どのような状態にしたいか)	レジ袋等削減の協定事業者の買い物袋持参率(レジ袋削減率)を向上させ、レジ袋等の削減を推進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
協定締結事業者の年間平均レジ袋削減率	%	28.1	37.4	83.1	90	90

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
	協定締結事業者の年間レジ袋削減枚数	千枚	目標値	11,103	11,103	29,608	33,309	33,309
			実績値	10,405	13,842	30,755		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	協定締結事業者の年間平均レジ袋削減率は、令和2年7月からのレジ袋有料義務化により、目標値を上回った。							103.9%
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
								35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 3年度(決算)	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(予算)
トータルコスト	[円]	3,415	2,245	2,265	2,265
(事業費)	[円]	0	0	0	0
(職員人件費)	[円]	3,415	2,245	2,265	2,265

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

令和2年7月からのレジ袋有料義務化により、マイバッグの持参率は大幅に増加した。今後はマイボトルをはじめ、プラスチックごみの削減を推進する必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

協定事業者と協力し、レジ袋だけでなくプラスチックごみ削減の働きかけを強化し、事業の見直しを検討する。

令和 4年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価 担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	ゼロカーボンシティ推進
	施策	ごみの減量と再資源化の推進	電話番号	087-839-2393	
	基本事業	ごみの発生抑制の推進	事業実施主体		
	事務事業	事業系ごみ減量推進事業	事業期間	平成28年度～令和5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	事業の用に供する延べ面積3,000㎡以上の建物を有する事業者（多量排出事業者）に対し、「事業系一般廃棄物減量等計画書」の提出を求めるとともに、優秀な取組をしている事業者をエコシティたかまつ優良事業者として表彰する。また、地球にやさしいオフィス・店の登録事業者やエコシティたかまつ優良事業者等の事業系ごみ減量推進に向けた取組状況をホームページ上で公表し、市内事業者への事業系ごみ減量の推進を呼びかける。		
年度概要	事業の用に供する延べ面積3,000㎡以上の建物を有する事業者（多量排出事業者）に対し、「事業系一般廃棄物減量等計画書」の提出を求めるとともに、優秀な取組をしている事業者をエコシティたかまつ優良事業者として表彰する。また、地球にやさしいオフィス・店の登録事業者やエコシティたかまつ優良事業者等の事業系ごみ減量推進に向けた取組状況及び減量計画書の集計結果等を、ホームページ上で公表し、市内事業者への事業系ごみ減量の推進を呼びかける。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	


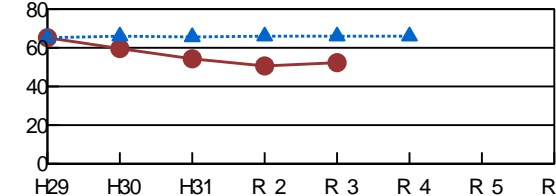
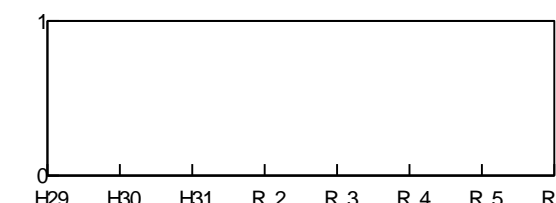
【事業の目的】

対象（何を）	事業の用に供する延べ面積3,000㎡以上の建物を有する事業者及び事業者が排出する事業系一般廃棄物
意図（どのような状態にしたいか）	対象事業者に対し、事業系一般廃棄物減量等計画書の作成及び計画の実行に取り組んでもらう。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
一般廃棄物減量等計画書受付件数	件	315	331	339	270	270

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
成果指標	多量排出事業者の廃棄物リサイクル率	%	目標値	66.6	66	66	66	66
			実績値	54.3	50.6	52.3		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 多量排出事業者の廃棄物リサイクル率の中期目標を66.0パーセントとし、リサイクル率の増加を目指したが、前年度比1.7ポイント増となり、令和3年度の目標達成度は79.2パーセントであった。 							(達成度) 79.2%
								27点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R2	R3	R4	中期目標 R4
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）
トータルコスト	[千円]	3,808	3,764	3,791	5,319
（事業費）	[千円]	14	23	16	34
（職員人件費）	[千円]	3,794	3,741	3,775	5,285

【評価】

評価ランク (A～D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

令和3年度は、多量排出事業者に対し「事業系一般廃棄物減量計画書」の提出を求めたところ、廃棄物の資源化率は前年度比1.7ポイント増の52.3%だった。今後、さらなる資源化への啓発を図らなければならない。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

多量排出事業者の廃棄物リサイクル率の中期目標を66.0パーセントとしており、リサイクル率の増加が図られるよう対象事業者への働き掛けを継続しつつ、目標達成に向けた具体的な対策を検討する。

令和 4年度 ( 3年度決算分 ) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	ゼロカーボンシティ推進
	施策	ごみの減量と再資源化の推進		電話番号	087-839-2388
	基本事業	ごみの発生抑制の推進		事業実施主体	市
	事務事業	食品ロス対策等推進事業		事業期間	平成30年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	食品ロス(本来食べられるのに捨てられる食品)の削減を始めとする食品廃棄物の減量・再資源化を推進するため、県と連携しながら、環境・身体・家計にかしこいライフスタイルであるスマート・フードライフに関する市民意識の向上を図る。食品ロスの実態及び取組状況を把握するとともに、食品ロス削減や「3きり」に関する周知・啓発により、市民の取組を促進するほか、事業者等とも連携した取組を推進する。				
年度概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民アンケート調査の実施</li> <li>・啓発リーフレットを活用した食品ロス実態及びその削減並びに「3きり」の周知・啓発</li> <li>・フードドライブの実施</li> <li>・フードドライブ支援事業</li> <li>・啓発環境学習等開催</li> </ul>				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト 2-	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)	

【事業の目的】

対象(何を)	食品ロスに対する市民意識及び食品廃棄物の発生量
意図(どのような状態にしたいか)	食品ロスに対する市民意識が向上し、食品廃棄物の発生量が減少する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
食品ロス実態調査の実施回数(延べ数)	回	1	2	2	2	2
食品ロスに関する市民アンケート調査実施件数	件数	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
成果指標	食品ロス認知度	%	目標値	84.6	84.8	84.9	85	85
			実績値	92.2	90.3	94.3		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 市民アンケート結果の有効数からは、目標を上回る結果となった。 (目標達成度)		(達成度) 111.1% 35点					
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(予算)
トータルコスト	[千円]	4,257	4,996	4,557	7,550
(事業費)	[千円]	463	1,255	782	0
(職員人件費)	[千円]	3,794	3,741	3,775	7,550

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

フードドライブ、スーパーマーケットキャンペーン等事業者との連携を行うなど、食品ロスの周知啓発を推進した。今後も、継続した啓発事業の展開が必要である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

引き続き、県と連携しながら、家庭や事業者の協力のもと、積極的な事業展開を図る。

令和 4年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	ゼロカーボンシティ推進
	施策	ごみの減量と再資源化の推進		電話番号	839-2393
	基本事業	ごみの発生抑制の推進		事業実施主体	市
	事務事業	プラスチックごみ対策事業		事業期間	令和 2年度～令和 5年度

【事業全体概要】

**事業の概要**  
世界的な問題となっているプラスチックごみを削減するため、国の「プラスチック資源循環戦略」に基づき、市民に対し、リデュース・リユースの2Rを中心に、市民等に積極的な情報発信を行うほか、燃やさざるを得ない本市指定収集袋等については、バイオマスプラスチックの導入に向け、調査・検討を進める。

**年度概要**  
国のプラスチック資源循環戦略に合わせた「高松市プラスチック・スマート運動」の展開等  
・啓発パネルの展示 ・海岸や河川でのフィールドワーク活動 ・給水用のウォーターサーバーの設置 ・啓発キャンペーンの開催 ・ごみ処理工場の見学会の開催  
市指定収集袋へのバイオマスプラスチック導入検討

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	2-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	----	---------	-------------------


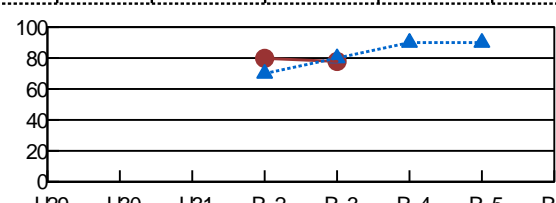
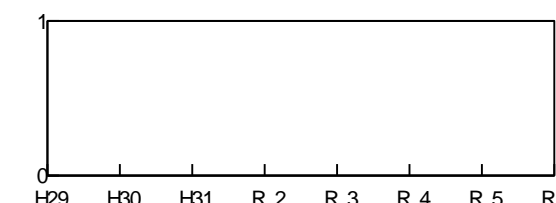
【事業の目的】

対象（何を）	市民、市内のスーパー、コンビニ、ドラッグストア等の小売店
意図（どのような状態にしたいか）	使い捨てプラスチック製品の使用の削減を推進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
啓発パネル展等開催件数（累計）	件		8	27	50	50

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H31	R 2	R 3	R 4	中期目標 R 4
地球にやさしい店等の年間平均レジ袋辞退率		%	目標値		70	80	90	90
			実績値		79.8	77.8		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） レジ袋辞退率は前年度より下がり、目標値を達成できなかった。 	(目標達成度)							(達成度) 97.3%
								34点
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）			目標値					
			実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	(目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成3年度（決算）	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（予算）
トータルコスト	[円]		7,841	8,027	7,335
（事業費）	[円]		359	477	540
（職員人件費）	[円]		7,482	7,550	6,795

【評価】

評価ランク（A～D）	<b>A</b>	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	<b>継続</b>
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

新型コロナウイルス感染拡大防止により、計画どおりの啓発活動が実施できなかったが、参加いただいた市民の方にはプラスチックごみ問題の意識が高まったので、継続して啓発活動を実施する。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

引き続き、積極的な情報発信や啓発活動を実施する。また、バイオマスプラスチックの指定収集袋の導入を目指すための検証と検討を進める。